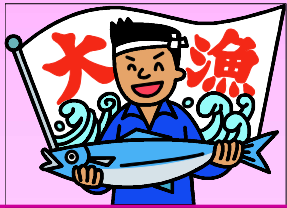


落石地区マリンビジョンニュース

2009.7 vol.5



落石地区マリンビジョン協議会では、様々な人たちと連携してビジョンを実現するために取り組んできました。その取り組み内容を随時お知らせしてきましたが、今回から紙面を一新して「落石地区マリンビジョンニュース」として定期的に発行することにしました。ご感想、ご意見等お寄せ下さい。

発行・編集：落石地区マリンビジョン協議会事務局

マリポートフェスティバル 第3回おちいし・味まつり

「第3回おちいし・味まつり」を6月7日(日)10時~14時に開催しました。開催当日は、あいにくの霧雨模様で終了予定時間を30分早めて終了しましたが、約2,500人の来場者があって大盛況でした。特産品の販売ブースでは、開催時間の午前10時前から長蛇の列ができ、中には開始30分で完売した商品もありました。会場中央の炭火焼きコーナーでは買い求めた魚貝類をその場で味わう家族連れも多く、新鮮な魚貝類を堪能していました。

アトラクションでは、天候と海上の波の関係で当初は2航海の予定を1航海で終了してしまいましたが、ユルリ・モユルリ島周辺の遊覧航行には4隻の船が出港し大人気でした。その他に子供広場ではエアートランポリンや魚貝類が観賞できるミニ水族館、素手で魚などをつかむことができる水槽プールでは子供たちの歓声が上がっていました。また、ステージでは地元住民による太鼓の演舞、民謡、最後の締めくくりとして餅まきが人気を集めていました。



第1回落石シーサイドウェイ浜松フットパス

6月27日(土)に落石地区マリンビジョン協議会主催、落石漁業協同組合、A B - MOBIT 後援の第1回落石シーサイドウェイ浜松フットパスウォークが開催され、関係者含め約130人の参加がありました。当日は晴天に恵まれ気温も高く、霧もかかっていたので景色がはっきりと見え、景観を楽しみながら歩いている姿が多く見られました。ゴール地点の浜松漁港では、『海鮮工房霧娘』が地元食材を使って料理した「花咲カニの鉄砲汁」、「カニ天さつま揚げ」、「タコの柔らか煮」、「タコキムチ」、「さんまの燻製」を参加者の皆様に試食してもらい好評でした。

今後フットパスが開催されたら参加したいという人の声もあり盛況の中無事に終了しました。



落石地区小中学生 ホッキ掘り体験学習

5月11日に落石地区の小中学生を対象としたホッキ掘りの体験学習が行われました。ホッキ掘りの体験を通して、地域の自然や産業に関心を持ち、地域の一員としての自覚を養ってもらおうと、実施しているものです。

今年も落石の外浜海岸で行われ、好天に恵まれた中、砂の中からホッキ貝が出てくるたびに子供たちが笑みを浮かべていました。

～昼食後の後片付けにて～

当初は予定されていませんでしたが昼食後の後片付けの時、海岸に落ちているゴミを皆さんが自主的に拾っていました。



ホッキ掘りを楽しむ子どもたち



たくさんのゴミを拾いました！

「おもしろかったホッキ掘り体験学習」

落石小学校五年 輪島 萌

この前は、ありがとうございました。とっても、楽しかったです。いろんな所を、歩いていたら、穴があいていて、そこをほると、すごい大きいホッキができました。はじめは、すごい小さな貝ができました。でも、どんどんいろんな場所をほっていたら、いっぱい、できました。

海の中を歩いていたら、カニがブカブカういていました。大きいカニや小さいカニがいました。その時は、ホッキが一個もとれなくて、歩いていたら、りょうしの方が、でかいホッキをくれました。でかくて、おどろきました。

お昼ご飯のジンギスカンが、おいしかったです。本当に全部が、たのしかったです。

来年は、今年よりもたくさん取りたいです。おもしろい体験させてくれて、ありがとうございました。

サケの稚魚放流

落石小学校と昆布盛小学校の児童49人が5月14日に、別当賀の落石さけ・ますふ化場の前を流れるチャラベツ川にふ化場で育ったサケの稚魚を放流しました。地区内の子供達に、地域の産業や資源、環境について考える機会になればと思い、体験学習の一環として参加しました。子供達は稚魚を放流する際に「元気に戻ってきてね」と声をかけながら放流しました。子供達が放流した稚魚500尾を含めてチャラベツ川からは146万尾のサケの稚魚が放流されました。



「稚魚放流式」

落石小学校五年 佐藤 みな

五月十四日に稚魚放流式がありました。

私は、稚魚放流式は、初めてでなんなのか、わからなかったです。

ついたら、稚魚放流式は、サケの子どもをはなす式だとわかりました。

サケの子どもに、エサをやるとき、よそいじょうのサケの子どもがいて、びっくりしました。そして、サケの子どもがすごくかわいかったです。

そして、稚魚を川にながして、私たちは、海の方について、あそんだりおべんとうやおやつをたべたりしました。

でも、たべてたとちゅうに、いきなり雨がふってきてすごくびっくりしました。

もし、来年もいくとしたら朝も昼もすごく天気がいい日にいきたいです。

活〆鮭 初荷揚げ

春鮭定置での春鮭が、船上で自動活〆機による「活〆鮭」が5月14日に落石市場に荷揚げされました。鮮度保持のため、水揚げ直後に船上で直ちに活〆することによって、従来は手作業のため大量の魚を活〆することはできませんでしたが、自動活〆機によって迅速かつ正確な活〆ができます。活〆された鮭は、船上で直ちに活〆されたため、魚体に傷もつかず血の匂いもしない鮮度の良い魚でした。現段階では試験運用ですが、今後は自動活〆機によって大量の魚を船上で活〆できるようになれば、今までよりも更に鮮度の良い魚が家庭に出ることが期待されます。



活〆鮭 初水揚げ



自動活〆機

編集・発行・お問い合わせ先

編集・発行 落石地区マリナビジョン協議会事務局

お問い合わせ 事務局 担当:根室市水産経済部水産港湾課水産振興係

電話:0153-23-6111 FAX:0153-24-8692

